

積極的に休暇を取れる環境づくりに 取り組み、実際に取得率が向上。

(株)NS・コンピュータサービス
常務取締役 管理本部長 平石 正敏 さん



こんな取組を
推進しています!

- 1 誕生日や記念日などの「アニバーサリー休暇宣言」を推奨
休みやすい環境を作り、有給休暇取得率アップ
- 2 有給休暇の計画的付与制度の実施
3カ月先のスケジュールを見越して先に有給休暇取得日を決める
- 3 育児短時間勤務制度やテレワークなどの多様な働き方への対応
育児など個々の事情に即した働きやすい環境を整備

「業界」というと、残業や徹夜など多忙なイメージが強いかもしれませんが、当社では10年以上前から働きやすい環境づくりに力を入れています。親会社が日本精機株式会社という上場会社であり、同じレベルで労働環境の整備に努めていかねばならないという意識がその背景にあります。

具体的な施策の一部をご紹介しますと、例えば「アニバーサリー休暇」。社員に「年次有給休暇を使おう」と言っても、実際の取得にはなかなか直結しません。そこで、誕生日や結婚記念日など、何かしらの記念日に休暇を取ることを推奨し、あわせて「アニバーサリー休暇」と宣言してもらうことで休みやすくなる仕掛けを作っています。3年ほど前から導入しており、実際に休暇取得率は向上しています。同じく有給休暇に関して、3カ月先までのスケジュールを読み、あらかじめ休暇を取る日を決めておく「有給休暇の計画的付与制度」も活用しています。2019年4月から法律で年5日の有給休暇取

得が必須となりますが、現在当社では1人平均9.3日取得しており、今後さらに取得を促していく方針です。

また、休暇以外の労働環境改善策も実施しています。法律では育児短時間勤務制度は3歳未満までとされていますが、当社では小学校に上がるまで延長を認めています。また14～5年前から在宅勤務制度がありましたが、それを一歩進めて、会社にいなくても、どこにいても社内の情報を共有したり仕事ができる環境づくりを進めています。現在はそのためのネットワーク環境やハード機器の整備を行っているところです。

従業員や社会の要請に誠実に対応してきたことで、現在は新潟県の「ハッピー・パートナー企業」と「イクメン応援宣言企業」に登録しています。今後も柔軟に一つひとつ施策を増やしていきながら、同じく働き方に関する「くるみん」や「えるぼし」などの認定を受けることも目指していきます。働きやすくなることで、働きがいが高まっていくことを期待しています。

早めに育休取得を相談することで、 仕事に影響が出ないスケジュールが組めました。

子どもが生まれる2カ月前には課長に相談をしていたので、ちょうど手がけているプロジェクトが一段落したタイミングで育児休業に入ることができ、仕事への影響はありませんでした。周りに迷惑をかけないためにも、早めに決めて準備することが重要だと思います。

当時は家事や沐浴などを行っていましたが、休まなかったらこの育児の大変さは気付かなかったと思います。その一方で、子どもができることが増えていく様子に感動できるのは、常に一緒に過ごせる育休ならではの。私はマレーシア出身ですが、マレーシアは大家族で育てることが多いので、男女ともに「育休」という概念がありません。国によって子育ての考え方は違いますね。

今は妻が日中一人で育児と家事をしているので、残業は1時間以内で終わるようにしています。子どもは最近ハイハイをするようになり、生まれた直後よりも、今のよう目が離せない時期に育休を取ったほうがいいのかも、と感じています。

イクメン社員
ワン キン
黄 敬永 さん(29歳)



株式会社 NS・コンピュータサービス

●所在地:長岡市 ●業種:情報システム ●従業員:507人

【業務内容】日本精機グループの一員として、車載機器開発を中心とした組込み技術事業、製造業・公共分野を中心としたシステム開発事業、お客様に最適なIT環境を提供するIDCサービスの3事業をグローバルに展開。



私たちはイクメン応援宣言企業です!

新潟県では、男性労働者が育児に参加しやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を「イクメン応援宣言企業」として登録しています。

もっと詳しく知りたい方は

にいがたイクメン応援宣言

<https://niigata-ikumen.jp>